

# 一般財団法人「くまもと未来創造基金」 事業計画書

## 1. 事業期間

2021年6月1日～2022年5月31日

## 2. 基本方針

当法人は、**地域を支えるために必要な資源の循環を作り、社会を構成するあらゆる人が地域の未来を担い合い支える仕組みを構築することによって、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的としています。**

そのため、熊本県内で活動している公益活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、新たに創設した**次世代育成事業「Appleseed 奨学金」**（熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給））では、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来世界的視野を持ちグローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的として事業を行います。

《設立から3ヵ年、以下の重点取り組みを行ってきました》

### ○2017年度重点取り組み【仕組みの充実と拡充】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の拡充
- ② 熊本地震支援活動団体のサポート体制・連携
- ③ 助成事業の充実

### ○2018年度重点取り組み【ネットワーク連携強化】

- ① 連携強化による新たな資源の確保
- ② 地域の課題解決に向けた仕組み作り・交流サロンの充実
- ③ ネットワーク連携による助成事業の充実

### ○2019年度事業の取り組み【基金創設と必要な資源の確保】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保  
（チャレンジ1592・Appleseed 奨学金）
- ② 社会課題のニーズ・課題調査、サポート体制づくり（女性・子ども・若者）
- ③ 組織運営・事務局体制の強化・充実

### 【2020年の運営方針について】

これまで、行ってまいりました地域における社会課題を把握し、必要な資源確保、ニーズに対応し現場に寄り添った事業を引き続き行ってまいります。また、関係団体・機関等と連携して行うことで、地域の課題解決に向けて連携サポート体制の構築をさらに進めていきます。

3月感染拡大した新型コロナウイルス感染対策、7月に発生した「熊本豪雨災害」に向けて、連携支援体制、必要な資源確保に努め、「支え合う熊本の未来づくり」を目指してまいります。

●2020 年重点項目

- ① 基金の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保（コロナ対策・災害支援）
- ② 社会課題のニーズ・課題調査、地域連携サポート体制づくり（女性・子ども・若者）
- ③ 組織運営・事務局体制の強化・充実

3. 事業

（公益活動推進事業）

(1) 公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

●事業名：チャレンジ1592（ひごくに）寄付募集

【事業概要】熊本地震から4年。熊本でたくさんの方が、被災者支援や復興支援活動を展開してきました。持続可能な活動にしていくために、引き続き、活動に共感・賛同いただける方を募り、「チャレンジ1592寄付」として登録・ご寄付をお願いしていきます。賛同者1592人をめざす！

【内容】一口応援メニュー（様々な寄付メニューを紹介し、寄付者の思いを大事にした寄付）

【賛同者】1,592人（メッセージを同時にお願いしてHP上で公開＝賛同者）

【目標額】100万（2020年5月まで）

チャレンジ1592



●事業名：財団アワード

【事業概要】活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催。

【内容】「子どもたちに託すー支え合う熊本の未来」

- 1. トークセッション「子どもたちの未来のために、投資しよう」（仮題）  
登壇者（予定：肥後銀行頭取 笠原慶久氏、コモンズ投資 渋澤 健氏）
- 2. オルビスくまもと未来基金伴走支援事業活動最終報告
- 3. 新型コロナウイルス感染対策応援プロジェクト・熊本豪雨災害支援報告
- 4. 交流会

【実施日時】令和元年12月19日（土）14：00～17：00

【実施場所】熊本城彩苑

【対象者】NPO・行政関係者・企業・地域金融機関・関心ある方

【参加者】60名

【参加費】無料

【賛同者目標】50名

(2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

●事業名：熊本暮らし人基金

【概要】熊本の課題解決に向けた活動を行っている団体を助成

【実施期間】2020年募集

【対象】熊本で活動している団体

【収入】100万 【支出】80万

- 2月から全国的に新型コロナウイルス感染流行に伴う「緊急事態宣言・一斉休校措置」に伴い影響を受けたひとり親家庭・子ども家庭支援は継続

(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

●オルビスくまもと未来基金（2017年より実施）

- ・2020年助成事業（助成金総額400万 伴走支援事業120万）

実施期間：2020年1月～2020年12月

かけがえのない「いつもの」日常を被災者が取り戻す力になりたい！そんな思いから始まった株式会社オルビスの「いつもプロジェクト」会員の皆様からいただいたご寄付から、くまもと未来創造基金で創設した「オルビスくまもと未来基金」は3年目を迎えました。

★3年目（2019年）は「熊本の働く女性や子育てママ、大学生、中高生なども含む子どもたち」の支援活動を行う団体を対象に、被災した私たち自ら、継続的な支援活動体制を今後も継続し、熊本の明るい未来を作るために「コミュニティの場形成やネットワーク・連携を活かし、継続的な生活支援・心のケア支援・就業雇用支援ができる活動や体制づくり」を支援

《採択支援団体》

嘉島町だんだん食堂-ハンズハンズ・子育てネットワーク『縁側moyai』・HAPPY PARK

事業内容：伴走型団体課題解決サポート

●「新型コロナウイルス感染対策緊急助成事業」（休眠預金等活用法に基づく事業）

2020年7月採択

- ・実施団体：公益財団法人熊本YMCAとのコンソーシアム共同事業（資金分配団体）
- ・事業期間：2020年7月～2021年10月

- ・事業規模：6100万
- ・事業内容：新型コロナウイルス感染により影響を受けている「ひとり親家庭」「子ども・わがもの」「障害者の働く場」を支援する公益活動団体への助成・伴走支援団体運営基盤強化事業
- ・5000万（500万の助成 10団体）
- ・募集：8月 ・事業開始10月～1年間

●事業：団体運営基盤強化事業

【事業概要】持続可能な活動を行うために必要な団体の課題把握や戦略計画立て自立した運営できるように団体運営基盤強化を行う。また日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催。

【目標】

- (ア) 県内市民活動支援センターと連携したセミナー開催
- (イ) 団体運営サポート支援体制を構築する

■基盤強化セミナー「熊本市市民活動センター あいぽーと」との連携事業

- ①助成金企画書づくりセミナー：7月24日（金）
- ②団体基盤強化ジャンプアップセミナー：①8月22日②9月26日③10月24日
- ④ 助成金セミナー 9月11日（金）13：00～17：00（財団主催）

■基盤強化セミナー「天草市市民活動支援センター あまみん」との連携事業

- ①「会員・寄付募集の準備をしよう」：8月6日（木）13：30～

●事業：ファンドレイジング勉強会・交流サロン

【事業概要】日本ファンドレイジング協会や認定・准認定ファンドレイザーと連携して、ファンドレイジングに関する体系的学び・ファンドレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会 を開催します。また同時に個別相談会や交流サロンを開催し、ネットワークづくりやマッチングの場、ニーズや課題の把握の場とします。

【目標】①学びの場の提供 ②「チャレンジ1592」賛同者を集める（③資金調達の専門知識を持った熊本のファンドレイザーを増やす。 ④地域の様々な主体との交流サロンを開催します。

2019年度：勉強会参加者人数延べ50人・交流会サロン参加人数60人

① ファンドレイジング勉強会

時期	会場	時間等	内容	備考
----	----	-----	----	----

コロナ対策として、オンライン開催検討中

②交流サロン

時期	会場	時間等	内容	備考
寄付セッション	オンライン開催	2時間程度	寄付について・1592寄付チャレンジプログラムについて	各15人

#### (4) 次世代育成事業

##### ●「Appleseed 奨学金」熊本モンタナ高校生留学奨学金

本事業を実施するに当たり、本財団内に特別基金として、「Appleseed 奨学金」を創設いたしました。高校生留学プログラム参加費用相当額の奨学金を、返済義務のない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来グローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的としています。

(2019 年特に本件と 35 年の良好な姉妹交流を続ける米国モンタナ州政府駐日本代表事務所のご協力のもと、公益社団法人日本国際生活体験協会の事業運営により、本年は県立第一高校 3 年生 堤あみさん、専修大学玉名高校 2 年生 永瀬友さんの二名が最終選考を経て選抜されました。)

##### 《2020 年度募集スケジュール》

コロナ感染のため中断

- ・今後に向けた資源確保体制づくり検討
  - ・遺贈寄付勉強会
  - ・遺贈寄付専門家チーム
  - ・12 月「おもやいアワード」

【収入】 円 【支出】 円 【収支差し引き】 円

#### (5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

##### ●情報発信

【事業】 情報発信及び広報・普及啓発

【内容】 市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】 市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】 HP

メルマガ

FB 等 SNS

##### ●理事会の開催

年 5 回開催 (6 月、8 月、11 月、2 月、5 月)

6 月—今年度事業計画・予算状況

8 月—進捗状況

11 月—進捗状況・次年度事業計画

2 月—次年度計画 (最終)

5 月—今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

##### ●評議員会開催

2021年6月開催